



宮城会長

本年度のカルヤン・バネルジーRI会長は、まず自分自身を見つめ直すこと、すなわち、「こころの中を見つめよう、博愛を広げるために」を国際ロータリーのテーマに掲げております。

深く自己を省みることによって、人類が皆、同じ夢、同じ希望、同じ願望、同じ問題を分かち合っていることを、理解しようと云うのが趣旨のようであります。

水野正人ガバナーは、今度の地区ビジョンは「簡素にして充実」を掲げております。かつて、徳増ガバナー年度に掲げられたテーマですが、水野ガバナーはこれを踏襲しながら、この巨大組織と複雑なプログラムを出来るだけ簡素な運営で効率的な成果を発揮して、充実したロータリー活動を邁進しようとしております。そして、RI会長の強調事項の「家族」、「継続」、「変化」を推進していくものとしています。

宜野湾RCにおいては、以上を念頭にいれて、ロータリーの理念とする「超我の奉仕」、「親睦と奉仕」を実践する意味からも僅かながらも力を発揮して行きたいと存じます。

さて、折しも東日本大震災の継続的で効果的な支援が必要とされる情勢もあり、私の年度の方針として、「絆～友情と寛容の心で～」を掲げ、ロータリーの精神を推進する各種プロジェクト、プログラムを支援して行きたいと考えています。なお、今年度は「ガバナー月信」がWebに載せて発信しますので、ICTを利用し、多くのロータリー情報にふれて研修、研鑽を得る機会を提供したいと存じます。

以上をご理解頂きまして、1年間よろしくご協力賜りますようお願い申し上げます。